

東日本大震災義援金に関する報告について

日本行政書士会連合会会長
 東日本大震災大規模災害対策本部本部長
 北山孝次

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生から、まもなく 2 年が経過しようとしています。被災された方々の強い意志と行政や民間のバックアップにより、少しずつ復興が進められていますが、被災地が本当に活気溢れるまでになるには、まだ時間を要すると思われ

ます。
 日行連は、震災発生直後に東日本大震災大規模災害対策本部を設置し、種々の対応にあたってまいりました。その中でも特に義援金募集の呼びかけに対しては、会員の皆様、各単位会等から大変なご厚情を賜り、9 千万円を超える義援金をお寄せいただくにおよびました。

これまでも「月刊日本行政」で、義援金の被災単位会への配分の経過をお知らせしてまいりましたが、このほど、その配分がほぼ完了いたしましたので、心からの御礼とともに、以下のとおりご報告させていただきます。

1. 義援金の収納状況

義援金の募集は平成 23 年 3 月 16 日に開催しました東日本大震災大規模災害対策本部で決定し、3 月 18 日から開始しました。各位からの収納状況につきましては、以下の表のとおりです。(平成 24 年 11 月 12 日現在)

(単位：円)

	単位会からの振込		会員からの振込		Total		単位会からの振込		会員からの振込		Total
	会名	金額	者数	金額			会名	金額	者数	金額	
1	北海道	2,146,200	10	55,500	2,201,700	27	京都	1,885,713	1	30,000	1,915,713
2	秋田	747,200	2	15,000	762,200	28	奈良		1	5,000	5,000
3	岩手		4	46,000	46,000	29	和歌山	248,359	16	105,000	353,359
4	青森	5,000	20	106,122	111,122	30	兵庫	4,866,023	7	78,000	4,944,023
5	福島				0	31	鳥取	150,000	2	5,880	155,880
6	宮城		1	10,000	10,000	32	島根	70,000	33	307,000	377,000
7	山形	497,007	2	40,000	537,007	33	岡山		10	57,000	57,000
8	東京	10,100,000	74	689,922	10,789,922	34	広島	2,682,000	5	26,000	2,708,000
9	神奈川	2,300,000	33	385,992	2,685,992	35	山口	581,826	1	2,500	584,326
10	千葉	1,306,719	32	363,470	1,670,189	36	香川	1,034,260	41	389,000	1,423,260
11	茨城		3	15,000	15,000	37	徳島	1,773,000			1,773,000
12	栃木	2,000,000	3	66,000	2,066,000	38	高知	1,028,122			1,028,122
13	埼玉	1,221,500	20	180,000	1,401,500	39	愛媛	1,910,852	4	225,000	2,135,852
14	群馬	1,434,060	11	70,000	1,504,060	40	福岡	1,203,000	9	1,188,268	2,391,268
15	長野	500,000	10	93,000	593,000	41	佐賀	502,484	1	100,000	602,484
16	山梨	927,542			927,542	42	長崎	403,891	4	35,000	438,891
17	静岡	1,000,000	11	400,000	1,400,000	43	熊本	800,000	3+誌一岡	126,492	926,492
18	新潟	1,625,864	4	27,000	1,652,864	44	大分	260,080			260,080

19	愛知	5,000,000	92	861,000	5,861,000	45	宮崎	391,257			391,257
20	岐阜	2,751,602	7	28,000	2,779,602	46	鹿児島	820,000	56	338,633	1,158,633
21	三重	3,085,173	2	7,000	3,092,173	47	沖縄	800,000	5	35,000	835,000
22	福井	200,000	1	30,000	230,000	48	日行連	15,000,000			15,000,000
23	石川	900,000			900,000	49	静岡なでしこ委			60,000	60,000
24	富山	1,503,000	1	10,000	1,513,000	50	近畿地協	200,000			200,000
25	滋賀	596,820	2	12,500	609,320	51	所属未記載会員等			266,565	266,565
26	大阪	7,456,583	22	406,000	7,862,583					合計	91,212,981

2. 各被災単位会への義援金配分額

いただきました義援金の総額は 91,212,981 円で、端数である 12,981 円を除き、以下の表のとおり各被災単位会及び県に配分いたしました。

(単位：千円)

	岩手会	青森会	福島会	宮城会	千葉会	茨城会	栃木会	(岩手県)	(福島県)	(宮城県)
H23.4/5	10,000		10,000	10,000						
5/17	5,000		5,000	5,000		5,000		1,000	1,000	1,000
9/15			10,000	12,000	2,000		1,000			
H24.8/10		1,000								
H25.1/00	4,400		4,000	3,800						
合計	19,400	1,000	29,000	30,800	2,000	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000
								合計	91,200	

3. 配分された義援金の使途

日行連では、義援金は原則、各被災会員に見舞金として直接的に支払われるべきものと考え、被災状況に応じた支援基準額を以下のとおり設けました。各被災単位会には、この基準を参考に被災された会員の皆様に義援金を分配していただくようお願いしています。

全壊	300,000円
半壊	150,000円
一部損壊	20,000円
死亡見舞	500,000円
原発避難	100,000円

(H24.7.25-26 理事会報告)

ここで参考として、特に義援金配分額の大きい岩手・福島・宮城各単位会の使途について以下のとおりご報告いたします。(平成 24 年 11 月 14 日現在)

<被災された会員への見舞金・義援金>

岩手会が 15,000 千円、福島会が 16,665 千円、宮城会が 15,970 千円を支出しています。

<義援金の一部を充てた被災者支援事業>

岩手会は無料相談、自動車登録抹消手続など、福島会は自動車登録抹消手続やこれに係る電話相談、被災自動車に関する移動相談、原発賠償請求相談員研修、支援活動広報など、宮城会は自動車登録抹消手続、無料相談、支部への交付金、「ふるさと再生支援事業」として被災された個人事業主や中小企業の皆様に対する補助金等に関する相談などを行ったとの報告を受けています。

日行連からの義援金の配分は今回で一段落しましたが、災害復興には長い時間がかかるものであり、各単位会においては、年度を越えた支援・復興事業が今後も必要になってまいります。日行連としても、引き続き様々な形で被災者、被災会員の支援を継続していきたいと考えておりますので、各会員の皆様方におかれましても何とぞご協力賜わりますようお願い申し上げます。